

高島公民館だより

2025年 2月号 2025.1.29 (文責: 高木)

高島公民館
(アイリッシュパーク内)

〒520-1121

高島市勝野670

TEL 36-0219

FAX 36-1909

t-kominkan@city.takashima.lg.jp

新年がスタートして早一か月、今年の冬は雪が少なく、比較的穏やかな日が続いています。今後、寒波がやってくるときもあるかと思います。寒さ対策とともにインフルエンザや新型コロナウイルス感染も懸念されます。手洗い、うがいの励行とともに、咳等の心配がある時にはマスクの着用など心がけていただくことが大事かと存じます。

昨年の9月末からアイリッシュパーク（高島公民館・高島図書室・ガリバーホール）の大規模空調設備の改修工事が進められてきました。ご利用の皆さまにはご不便をおかけしましたが、ようやく1月末に完了検査が行われ、それをもって工事完了となる予定です。今後はストレスなく冷暖房設備を利用させていただくことができます。

これから、これまでを決める

左のことばは、昨年末のラジオ（鈴木杏樹さんがパーソナリティーを務める番組）でゲストとして出演されていた歌手の藤井フミヤさん（TRUE LOVE 等が代表曲）に対してファンであるリスナーが藤井さんが大切にしている言葉に感銘を受けたとしてお便りを投稿されていました。鈴木杏樹さんもいたく感心されていました。藤井さん曰く「これはある仏教者のことばで、普通なら『これまでが、これからを決める』過去は変えられないと思われがちです。そうではなくて『これからが、これまでを決める』というのは、これからの生き方がこれまでの意味を決める。事象としては変わりませんが、過去の意味付けが変わるのです。これからの生き方によって、あのときの経験が今の私をつくっている。失敗だと思っていた過去が貴重な経験であったのだと事象を捉えなおすことができる。過去は変えられないと決めつけているけれどそうではないのです。自宅トイレの扉の内側に貼ってとても大事にしている言葉です」と紹介されていました。これからの生き方に対する考え方と年齢を重ねることのすばらしさでもあると思います。「年をとってあかんようになったな」と弱気になっている自分を木っ端微塵にしてくれたように感じました。

第48回 元旦走ろう会

1月1日水尾神社集合

高島地域スポーツ振興会主催

厳かな雰囲気漂う元旦の早朝、130名（一般参加120名スタッフ10名）の皆さまにご参加いただき、無事開催することができました。今年も雪の影響がなく、開始前には雨も上がり、心身ともに健康で新たなスタートを切っていただいたのではないのでしょうか。

スポーツ振興会の皆さまをはじめ、ご協力をいただきました関係者の皆さま、ありがとうございました。特に会場となった水尾神社の皆さまには、大変お世話になりました。記念の絵馬を神社からいただき、お正月のお菓子の他に参加記念の賞品もありましたので、楽しんでいただけたと思います。永年参加の方へは、記念品の授与があり、寒さの中にも華やかさがありました。



スポーツ振興会 中村会長 年頭のご挨拶



永年参加者への表彰



スポーツ振興会井上顧問 先導 ラジオ体操

2025 ガリバー書き初め展

1月26日(日)~2月2日(日)

この度、恒例のガリバー書き初め展を開催しました。子ども書道教室から24点、高島学園から18点、出鴨書道教室から7点、樺美会から11点、優々書道会から5点、総数65点の作品が出品され、展示しました。力強い作品や文字のバランスがよく整った作品など、出品者の特徴がよく表れていました。本年も、児童・生徒さんの優れた作品には、金賞を授賞してもらいました。



ガリバー書き初め展を参観される皆さま

子どもお菓子づくり教室

1月26日

【高島青少年育成学区民会議主催】

【家族やお友達にプレゼントするお菓子作りにチャレンジしてみませんか！】



クリームづくり

尽力いただきました。手作りしたお菓子は持ち帰りました。

サポーターとして中学生（2名）も参加してくれました。中学生は子どもたちの身近な存在であり、一緒に活動してくれる姿は微笑ましく、調理室が和やかに

この度、講師に三田村ます江氏を招いて、恒例の子どもお菓子作り教室が開催されました。本年度は表題のとおり身近な人にプレゼントするお菓子（スコップティラミス）づくりにチャレンジしました。

講師には、感染症対策に留意してもらうとともに、楽しみながらオリジナルのお菓子作りができるようにと準備段階から、何度も検討を重ね、ご



カステラとクリームを重ねていく



上からココアをふって出来上がり

になりました。高島青少年育成学区民会議からは会長の横田さん、副会長の福原さん、委員の三矢さん、高島さん、白井さん、山田さん、大杉さんにお手伝いいただきました。講師の先生をはじめ皆さま、お世話になりました。

- ・作り方を知ったので、家でまた作りたい。みんなといっしょに協力できたので、うまくできたと思います。
- ・クリームチーズやヨーグルト、生クリームを友達と一生けんめいにまぜて、だんだんやっているうちに楽しくなりました。
- ・先生がやさしく教えてくださったのでじょうずにできました。
- ・ティラミスを作って、お菓子作りにきょうみがわきました。
- ・まぜたり、切ったりするのはむずかしかったけれど、おいしいようなティラミスが作れたのでよかったです。

【子どもたちの感想】

【高島図書室から】    ☎ 36-2160

寒さも厳しくなる2月。暖かい部屋でゆっくりと読書をしませんか。新しく入った本の中から、今月はこの2冊を紹介します。どちらの本も、ユニークな住人たちと、彼らが住む町で起こる大小さまざまな事件の物語です。



『牧谿の猿』西條 奈加／著 新潮社

深川山本町、浄心寺裏にある千七長屋。長屋の木戸脇に、表店の質屋千鳥屋があるため、その名がついた。

ところが、最近では専ら『善人長屋』と呼ばれている。これは、長屋の住人たちにとっては何とも居心地の悪い二つ名だった。というのもこの長屋、住んでいるのは掏摸に盗人、騙りに裏の情報屋、美人局と裏稼業もちの小悪党ばかり。なのに、住人の中で唯一の根っからの善人・加助が日夜人助けの種を運んでくるものだから、不本意ながらも悪の手管で人助け、というわけだ。さて、今日は一体どんな人助けの種が飛び込んでくるのやら――。

今回収録されているのは、命同様に大事にしていた根付を探してほしいと訪ねてきた商家のお内儀の話（「白狐」）ほか全六話。江戸の下町を舞台に繰り広げられる大江戸人情ピカレスク『善人長屋』シリーズ最新作、ぜひお楽しみください♪

『花咲小路二丁目中通りのアンパイア』小路 幸也／著 ポプラ社

次に紹介する作品は、時代変わって現代が舞台の物語です。

舞台になるのは、日本のどこかにある架空の町『花咲小路商店街』。この町には、実にユニークな人々がたくさん暮らしています。隠居暮らしの元・大泥棒に、ちょっと不思議な花屋さん。理髪店を営む奥さんの旦那さんには、思いもよぬ裏の顔！ほかにいろいろな人が暮らすこの町では、日々大小さまざまな事件が起こります。

今回登場するのは『元・伝説の警察官』であり、現在はたいやき屋店主兼アンパイアの碌朗。

彼にもある秘密がありました。それは『人がその言葉に込めた嘘がわかる』力を持っていること！

この力で碌朗は商店街の事件を解決に導いていくのですが――。

さて、碌朗が出会ったのは一体どんな事件だったのでしょうか。ぜひ読んでみてください♪

貸出中の資料はご予約できます。お気軽におたずねください。

高島公民館 2月の予定表

1	土	市内中学校吹奏楽部プラスコンサート（ガリバーホール）
2	日	ガリバー書初め展最終日 節分
3	月	休館日（図書室休み）立春
4	火	（図書室休み）子ども書道（硬筆）教室⑮
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	休館日（図書室休み）
11	火	建国記念の日
12	水	休館日（図書室休み）
13	木	
14	金	
15	土	おはなし会10:30～11:00（和室）高島スポーツ少年団スキー交流（箱館山）
16	日	高校生サミット（ガリバーホール）
17	月	休館日（図書室休み）
18	火	（図書室休み）子ども書道（毛筆）教室⑮
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	休館日（図書室休み）
26	水	（図書室休み）
27	木	
28	金	